

## ■県北の海に舞うカモメの群れ

さんぼく

# 山北海岸 (岩船・山北町)

■環境：海岸  
 ■対象：一般  
 ■期間：11月～3月下旬

笹川流れから山形県境まで続く約40kmの岩礁の海岸。冬季にはカモメ類をはじめ、ハヤブサや海ガモの仲間など、数多くの野鳥の姿を見ることができる。

村上市三面川河口から北へ40kmに及ぶ海岸線は山地が海にせり出した荒々しい岩礁海岸を形成し、笹川流れに代表される景勝地として、夏には多くの人々が訪れ、にぎわう。しかし、初冬から早春にかけては訪れる人も少なく、夏のにぎわいがうそのような静けさを取り戻す。この時期が探鳥には絶好の季節となる。

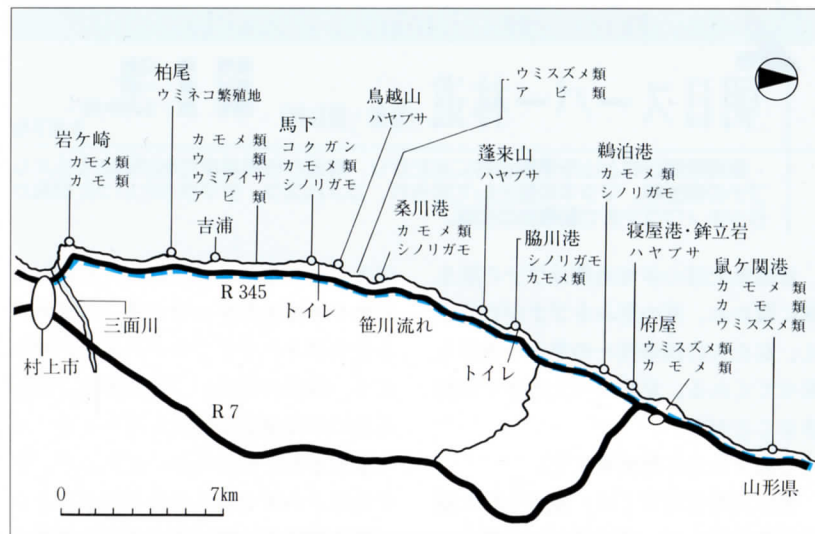
11月に入るとカモメ類の数が増加してくる。この地には数kmおきに小漁港

が点在し、そこがカモメ類の越冬拠点となっている。漁船が入港する度に船尾に群れるカモメ類の多くはウミネコとオオセグロカモメで、時にはワシカモメやシロカモメが少数交じることもあり、カモメ類ウォッチングには楽しみなどである。その他、セグロカモメ、カモメ、ユリカモメが少数見られ、ミツユビカモメが姿を見せることもある。

厳冬期の1月から早春3月初旬がこ



冬の山北海岸



の地での探鳥の適期となり、特にシノリガモは数羽～十数羽の群れを各漁港で見ることができる。また、海が割合穏やかな日には、ウミアイサの小群やウミウ、ヒメウの潜水を普通に見ることができ、海上遥かに(シロエリ)オオハム群れやウミズメの仲間、海上を飛ぶウトウなどが見られることもある。

海へせり出した山地のがけは、ハヤブサの格好の生息地となっており、冬場の探鳥で、数つがいを見ることができる。更に、この地にはウミネコの繁殖地が点在し、1～2月にかけての穏やかな日には、数十羽～数百羽の群れが、繁殖岩礁に着鳥しているのを見ることが出来る。

長い海岸線なので車が必要な探鳥であるが、厳しい冬の日本海に生きる鳥たちの姿を目の当たりにできる貴重な探鳥地である。

(宮越一俊)

### メモ

交通 自家用車を利用。

☐ 観察ポイントの道端へ駐車して観察することになるので他の車の通行の邪魔にならないよう注意が必要。トイレは馬下、脇川などの駐車場にある。

探鳥会 村上野鳥の会主催の「カモメとハヤブサを見る会」が毎年、2月の第一日曜日に開かれる。

問い合わせ先：宮越一俊

☎0254-52-2774